



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東葛ホールディングス  
コード番号 2754 URL <http://www.tkhd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 俊之

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吉井 徹

TEL 047-346-1190

四半期報告書提出予定日 平成28年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,671	6.7	87	0.8	90	4.1	56	4.0
28年3月期第1四半期	1,566	△9.4	86	△20.4	86	△19.0	54	△15.3

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 56百万円 (4.0%) 28年3月期第1四半期 54百万円 (△15.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	11.75	11.48
28年3月期第1四半期	11.32	11.09

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	6,326		3,522			55.4
28年3月期	6,521		3,513			53.6

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 3,504百万円 28年3月期 3,496百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,694	8.2	230	11.2	224	8.3	142	9.3	29.53
通期	7,535	8.1	486	29.6	474	25.9	302	27.9	62.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	4,840,000 株	28年3月期	4,840,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	1,701 株	28年3月期	1,701 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	4,838,299 株	28年3月期1Q	4,828,299 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年6月30日）におけるわが国の経済環境は、雇用環境等が改善の動きを続けている反面、企業収益の改善の動きが一服しており、個人消費も改善の動きが遅れている等全体では横ばいの状況で推移しております。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、複数のメーカーで公表された燃費に関する問題の影響により、特に軽自動車の販売が落ち込んだこと等から当第1四半期連結累計期間の国内新車販売台数は1,077,245台（登録車（普通自動車）・届出車（軽自動車）の合計。前年同四半期比1.9%減）となりました。

当社グループにおけるセグメント毎の状況につきましては以下のとおりであります。

新車販売につきましては、エコカー減税の基準見直し等による販売環境の悪化の影響が薄らぎつつあること等から販売台数は509台（前年同四半期比21.8%増）となりました。また、整備業務を行うサービス売上は前年同四半期に比べて減少したものの、販売台数の増加に伴い登録受取手数料等の手数料収入は前年同四半期に比べて増加しました。売上高は13億60百万円（前年同四半期比11.4%増）となりました。

中古車販売につきましては、新車販売からの下取車の他、オークション等による外部仕入等により販売車両の確保に注力しましたが、販売台数は477台（前年同四半期比8.4%減。内訳：小売台数199台（前年同四半期比21.7%減）、卸売台数278台（前年同四半期比4.1%増））となりました。また、サービス売上及び販売台数の減少により登録受取手数料等の手数料収入も減少しました。売上高は2億85百万円（前年同四半期比11.7%減）となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業において、前期中途に開設した新店舗が今期の売上に寄与したことで保険契約件数及び保険取扱手数料は前年同四半期に比べて増加したことから売上高は25百万円（前年同四半期比14.1%増）となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は16億71百万円（前年同四半期比6.7%増）となりました。

また、損益につきましては、営業利益は87百万円（前年同四半期比0.8%増）、経常利益は90百万円（前年同四半期比4.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は56百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。これは、当社グループ全体の売上高に占める割合が大きい新車販売の売上高が前年同四半期に比べて増加したこと等によるものです。

### （2）財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は34億97百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億68百万円減少いたしました。これは現金及び預金が20百万円、その他の資産が14百万円それぞれ増加、受取手形及び売掛金が1億84百万円、商品及び製品が19百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は28億29百万円となり、前連結会計年度末に比べて26百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が23百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は63億26百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億95百万円減少いたしました。

##### （負債）

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は24億67百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億84百万円減少いたしました。これは賞与引当金が24百万円増加、買掛金が85百万円、短期借入金が1億2百万円、未払法人税等が10百万円、その他の負債が9百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は3億36百万円となり、前連結会計年度末に比べて19百万円減少いたしました。これは長期借入金が12百万円、その他の負債が6百万円それぞれ減少したことによるものです。

この結果、負債合計は28億4百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億3百万円減少いたしました。

##### （純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は35億22百万円となり、前連結会計年度末に比べて8百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益56百万円及び剰余金の配当48百万円によるものです。また、自己資本比率は55.4%（前連結会計年度末は53.6%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ20百万円増加し、当四半期連結会計期間末には14億49百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は1億84百万円（前年同四半期は77百万円の使用）となりました。これは税金等調整前四半期純利益89百万円から主に減価償却費26百万円、賞与引当金の増加額24百万円、売上債権の減少額1億66百万円、たな卸資産の減少額18百万円、仕入債務の減少額85百万円、その他の資産の増加額13百万円及び法人税等の支払額43百万円等を調整したものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は0百万円（前年同四半期は2百万円の獲得）となりました。これは主に貸付金の回収による収入2百万円、有形固定資産の取得による支出2百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は1億63百万円（前年同四半期は1億74百万円の使用）となりました。これは借入金の返済による支出1億14百万円、配当金の支払による支出48百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、概ね計画通りに推移していることから、平成28年5月12日の「平成28年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,428,951	1,449,922
受取手形及び売掛金	1,777,122	1,592,597
商品及び製品	334,334	314,859
その他	125,187	139,719
流動資産合計	3,665,595	3,497,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	439,107	431,036
機械装置及び運搬具（純額）	197,293	182,046
土地	1,985,328	1,985,328
その他（純額）	3,920	3,556
有形固定資産合計	2,625,650	2,601,967
無形固定資産	2,084	1,915
投資その他の資産	228,123	225,167
固定資産合計	2,855,857	2,829,051
資産合計	6,521,453	6,326,150
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	495,353	409,552
短期借入金	1,709,910	1,607,423
1年内返済予定の長期借入金	50,004	50,004
未払法人税等	43,835	33,413
賞与引当金	50,408	74,584
その他	302,795	292,823
流動負債合計	2,652,306	2,467,800
固定負債		
長期借入金	129,153	116,652
その他	226,446	219,667
固定負債合計	355,599	336,319
負債合計	3,007,906	2,804,119
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	211,085	211,085
資本剰余金	200,496	200,496
利益剰余金	3,085,128	3,093,611
自己株式	△673	△673
株主資本合計	3,496,036	3,504,519
新株予約権	17,511	17,511
純資産合計	3,513,547	3,522,030
負債純資産合計	6,521,453	6,326,150

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
売上高	1,566,600	1,671,426
売上原価	1,162,299	1,282,407
売上総利益	404,300	389,019
販売費及び一般管理費	317,730	301,736
営業利益	86,570	87,282
営業外収益		
受取利息	404	364
受取手数料	1,908	3,762
その他	1,492	1,390
営業外収益合計	3,806	5,517
営業外費用		
支払利息	3,893	2,748
その他	—	9
営業外費用合計	3,893	2,757
経常利益	86,484	90,042
特別損失		
固定資産処分損	10	78
特別損失合計	10	78
税金等調整前四半期純利益	86,473	89,963
法人税等	31,770	33,097
四半期純利益	54,703	56,865
親会社株主に帰属する四半期純利益	54,703	56,865

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	54,703	56,865
四半期包括利益	54,703	56,865
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	54,703	56,865
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	86,473	89,963
減価償却費	31,044	26,952
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22,976	24,175
受取利息及び受取配当金	△404	△364
支払利息	3,893	2,748
固定資産処分損益 (△は益)	10	78
売上債権の増減額 (△は増加)	136,682	166,572
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△11,777	18,843
仕入債務の増減額 (△は減少)	△195,882	△85,801
その他の資産の増減額 (△は増加)	△40,367	△13,988
その他の負債の増減額 (△は減少)	△25,536	1,987
小計	7,112	231,169
利息及び配当金の受取額	11	11
利息の支払額	△3,941	△3,101
法人税等の支払額	△80,607	△43,943
営業活動によるキャッシュ・フロー	△77,425	184,135
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△269	△2,549
貸付金の回収による収入	2,682	2,682
差入保証金の差入による支出	△121	—
差入保証金の回収による収入	—	74
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,290	206
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△109,694	△102,487
長期借入金の返済による支出	△16,111	△12,501
配当金の支払額	△48,282	△48,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△174,088	△163,371
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△249,222	20,970
現金及び現金同等物の期首残高	1,418,796	1,428,951
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,169,573	1,449,922

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,221,135	322,698	1,543,833	22,766	1,566,600
セグメント間の内部売上 高又は振替高	65,922	—	65,922	50,579	116,501
計	1,287,058	322,698	1,609,756	73,346	1,683,102
セグメント利益	62,920	43,954	106,875	15,364	122,239

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	106,875
「その他」の区分の利益	15,364
全社費用（注）	△35,668
四半期連結損益計算書の営業利益	86,570

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,360,347	285,102	1,645,449	25,977	1,671,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	63,690	—	63,690	43,288	106,979
計	1,424,037	285,102	1,709,140	69,265	1,778,406
セグメント利益	86,938	33,761	120,700	8,555	129,256

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	120,700
「その他」の区分の利益	8,555
セグメント間取引消去	△338
全社費用（注）	△41,634
四半期連結損益計算書の営業利益	87,282

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。